専門教育科目	演習科目

受講料	10,000円

科目名：	アロマセラピー入門	科目コード	AA14
		単位	2
科目主査： 野口 花琉実	担当講師： 野口 花琉実	配当年次	3・4

授業の目的と概要	グループワーク： ☑ あり ☐ なし	個人ワーク： ☑ あり ☐ なし

アロマセラピーやメディカルハーブといった植物療法は、古くから人間と植物の関わりの中で誕生した自然療法です。ストレスの多い現代社会においてはストレスマネジメントに役立てることができ、そのためには土台となる基礎を身につけることが大切です。
本科目では、自然治癒力を高め心身の健康や美容に活用すべく具体的に体得できるように進めていきます。精油やハーブに触れる実習を交えながら、日常生活に活かせる基礎と実践法を学びます。

担当教員の実務経験等	［担当教員の実務経験］ エステティックサロン、産婦人科、皮膚科、介護施設等でのセラピスト業務を経験し、現在はサロン経営および化粧品会社の商品開発コンサルティング等を行うアロマビューティーコンサルタントとして活動。また植物療法をメンタルヘルスに役立てる企業研修なども行う。 ［実務経験に基づく項目］ 精油の活用法、アロマオイルマッサージ、メディカルハーブの有効性、メディカルハーブの活用法等。
履修の前提となる科目	☐ あり ☑ なし　科目名：
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前学習として、テキストP10～P40（P15、P26～P28を除く）、P50を読み、また植物と自分との関わりについて考えてください。 受講にあたり香水の使用は控えてください。アレルギーが心配な方は事前に講師に申し出てください。
テキスト	『アロマ＆ハーブ大事典』　林真一郎　監修　　新星出版社 ※テキストはスクーリング受講許可者に送付します。

この科目の 到達目標	①アロマセラピーおよびメディカルハーブの基礎知識や心身に対する効用を理解することができる。 ②自分自身の体調・精神状態・美容に有効な精油やメディカルハーブを選択し用いることができる。 ③自分自身のストレスマネジメントに役立てることができる。
成績評価 の 方 法	授業態度を重視し、授業時間中の集中度合い、グループワークへの参画度合い、実習への取り組み等を評価対象とします。 最終試験は授業全般とテキスト内から出題します。ケーススタディは授業内容を理解しているかを見ます。 ※スクーリング全日の出席、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。
事後学習	実習で製作した物を講義終了後も継続使用し、自分の心身の変化に意識を向ける生活を送りながら、テキストを利用してアロマセラピー・メディカルハーブの実践を心がけること。
事後学習の 参考文献	『メディカルハーブの事典 改訂新版 主要100種の基本データ』林 真一郎,東京堂出版,2023年 『メディカルハーブ検定テキスト』NPO法人日本メディカルハーブ協会,池田書店,2022年改訂版 『アロマテラピー検定公式テキスト1級・２級』公益社団法人日本アロマ環境協会,世界文化社,2020年改訂版

スクーリング受講時に用意するもの

☑テキスト ☑筆記用具 ☑ハンドタオル（１日目にハンドマッサージに使用）
☑受講票（iNetCampusのお知らせ機能を用いて通知されます）画面　　☑学生証